

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会スポーツ振興課	■担当係	体育振興係
■評価事業名称	学校体育施設開放事業		
■評価事業コード	400500 - 074	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	03 スポーツの振興	
	■施策	01 スポーツを通じた健康づくり	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の実施義務(自治事務)		
■法令等の名称	スポーツ基本法		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	市民のスポーツ、レクリエーション活動の場、子どもの遊び場の確保。市内小学校17校、中学校9校の運動場、体育館、夜間照明施設を市民に開放		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	学校体育施設開放事業	市民		○小学校17校、中学校9校の校庭、体育館、夜間照明を市民に開放 ○利用者数168,614人 ○開放期間 体育館 年間 校庭 4月から11月

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	12,546	12,158	11,725	11,572	
人件費	1,811	327	487	1,259	
その他(公債費・減価償却費等)	333	296	259	222	
フルコスト	14,690	12,781	12,471	13,053	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	対象学校数	27	27	27	26	市内小・中学校全て(南中は校庭のみの開放)
03	利用者数	234,840人	238,128人	238,078人	229,390人	利用者数
04	1校当たりコスト	544,074円	473,370円	461,889円	502,038円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

口内小学校の体育館の利用を再開したが、利用者数が震災前より減っている。

問題点・課題等

使用届や日誌等の管理人への未提出や未記入が見られる。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☒ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☒ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
- ☐ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☒ ニーズが高まっている
- ☐ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☒ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☒ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小・要改善
- ☐ IV. 民間活用・協働事業化
- ☐ V. 廃止・休止
- ☐ VI. 完了

補足説明